

御坊(ごぼう)とは、本山の別院、またはこれに準ずる寺院の称(真宗新辞典より)

お寺の

掲示板

ふるさと

故郷って

おかあさんの

ことでした

お寺の掲示板には

住職前住職が「毎月」言葉を書いていきます。

通りがかりの人がメモをしたりしています。

「意味を教えてもらいたい」と、

たずねられることもあります。

この「お寺の掲示板」のコーナーで

お伝えしていきたいと思ひます。

（掲示月）2021年（令和3年）5月



母の日の5月に因んで、今月のことは、絵本作家・詩人の葉祥明（1946〜）さんの『母親』というものは』からです。原文をそのまま掲載いたします。それぞれ味わってみてください。

母親というものは

無欲なものです

我が子が

どんなに偉くなるよりも

どんなにお金持ちになるよりも

毎日元気でいてくれることを

心の底から願ひます

どんな高価な贈り物よりも

我が子の優しいひと言で

十分すぎる程幸せになれる

母親というものは

実に本当に無欲なものです

だから、母親を泣かすのは

この世で一番いけないことです。

大きかった母さんが

小さくなった

小さかった私が

大きくなった

でも、こころの中の母さんは

今でも大きくて

私は小さな子どものままです。

母さんが

いなくなったら

故郷に帰る理由が

なくなりました

母さんのいない故郷になんか

帰る気がしません

“故郷”って

母さんのことでした！



引上会報恩講、勤修しました

5月14日から16日 引上会報恩講をお勤め致しました。

緊急事態宣言発令に伴い、非常に難しい決断でした。感染対策を念入りに行ひ、

なんとか勤修させていただきました。予定していた内容を変更して短い法要となりましたが、

親鸞聖人のご法事を皆様とお勤めできたことは住職として仕合せでした。

法要後にも各自お参りくださっています。

まだ整理がつかまへるので懇志上納者名簿は永照寺だより7月号に掲載させていただきます。

希望者には『親鸞聖人の生涯を学ぶ御絵伝』の本を送らせていただきますので、ご一報ください。





6月の行事予定

16日（水）宗祖命日

朝7時から

お勤め致します。

18日（金）婦人会例会

13時から

※今月総会をします

ぼんぐ

凡愚のつぶやき

今年は例年にないほど早い梅雨入りでした。

皆様いかがお過ごしですか。

ここ数日、お盆参りについてのお問い合わせもいただきます。

昨年は初盆のご家庭にしかお参りできませんでしたので、

今年ではできる限り通常通りお参りしたいと考えています。

詳しくは来月号にご案内させていただきます。

皆様、お身体にはくれぐれも気を付けてお過ごしくださいませ。

お知らせ

●お経本は床に置かないでください。

●毎月16日は親鸞聖人命日（おあさじ）にお参りください。

●住所が変更する場合は、恐れ入りますがお寺に届けてください。

●最近では法事が土曜・日曜に集中しますので、早めに連絡頂ければ助かります。（特にお寺で法事をする場合）

永照寺 開門・閉門の時間

・開門…6時30分

・閉門…18時



行事予定やお参り・法要などの連絡事項は「ホームページ」にて随時更新しています。

ホームページに関してのご意見、ご希望、メールをお待ちしています。 <http://www.eishouji.or.jp/> 北九州 永照寺 🔍 検索

Blog Bonguan

凡愚庵

永照寺・住職のブログ【凡愚庵（ぼんぐあん）】も

合わせてご覧いただければ幸いです。

（上記のホームページ内に移転しました。）

QRコード

モバイルは

このマークをカメラで

読み込んでください。



離れて暮らすご家族にも

オススメください。

小倉御坊 永照寺だより

2021年6月号（第206号）2021年6月1日発行

福岡県北九州市小倉北区大手町16-16 永照寺 TEL：093（582）7676 FAX：093（591）4989

【郵便振替口座番号】01790-4-46276 永照寺志納所

ご門徒の川原尚行様の運営されるロシナンテスが15周年をむかえました。

「人のために生きよ」という和尚さんからの言葉を胸に医者になり、現在はアフリカに医療を届ける活動を行っております。

永照寺様には大変お世話になっており、

昨年父の葬儀・法要での貴重な御法話には、家族一同感謝の気持ちでいっぱいです。

この度団体が設立15周年を迎えた感謝の意をお伝えしたく、この貴重な場を頂戴いたしました。

おかげさまで認定NPO法人ロシナンテスは設立15周年を迎えることができました。

心から御礼を申し上げます。

認定NPO法人ロシナンテス 理事長 川原尚行

2002年に外務省の医務官として赴任したアフリカ・スーダンは、当時内戦中で、多くの方がマラリアやコレラで苦しんでいました。しかし、日本人の健康管理を任務とする医務官の立場では何もできず、葛藤の末「困っている人のために」との思いで辞職を決意し、ロシナンテスを立ち上げました。団体設立から15年間、医療施設のない村々を回る巡回診療や診療所建設、給水所の整備、栄養改善事業などを通じて、現地の人たちだけで医療を継続できる仕組みづくりを行っています。



(写真/内藤順司)

「初志貫徹」で、引き続き現地に医療を届けてまいります。応援をよろしくお願いいたします。



困窮する人々に医療を届ける為、ご自身の経歴や立場を捨てて単身スーダンに渡航され現在もその活動を続けておられます。皆様の温かいご支援の輪が広がっていくことを切望いたします。

<https://www.rocinantes.org/>

ロシナンテス

検索

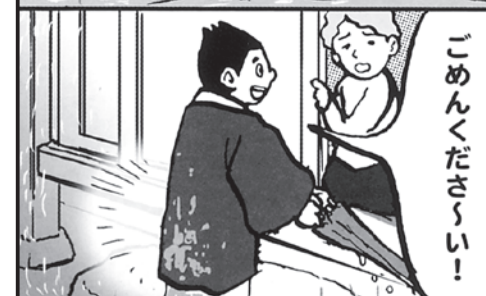


ご支援いただける方、活動に興味を持たれた方はどうぞホームページをご覧ください

新連載 漫画 お坊さんのひとりごと

あしたに けんゆう

あめ ひ つよ み かた 雨の日の強い味方



た び 足袋



住職の法友の有谿賢友さんの漫画「お坊さんのひとりごと」

有谿さんは僧侶と漫画家二足の草鞋を履き、宗門の様々な冊子に漫画を掲載しています。